

サッカー教室

(サッカーの歴史、ルール、クイズ)

サッカー入門

サッカーの歴史と発展

近代サッカーの発祥地イングランド

世界への拡大

近代サッカーとワールドカップ

日本サッカー界 Jリーグの設立



近代サッカーの発祥地イングランド

中世のボールゲームの代表的なものが、イングランドのフットボールやフランスのスールである。・・相手陣地へボールを運ぶ

1863年 フットボール協会設立
統一ルールがつくられる

世界への拡大

1870年代 大英帝国が世界各地で勢力を拡大するにつれ、サッカーも世界中に拡大

1889年 デンマーク、オランダがサッカー協会設立。各国へ協会設立が波及。

1904年 FIFA(国際サッカー連盟)設立
(Fédération Internationale de Football Association)

1930年 第一回ワールドカップ開催
(ウルグアイ)

近代サッカーとワールドカップ

粗削りなプレーから、洗練されたテクニックへ
力に頼ったプレーではなく、テクニックと戦術
が重視される

第2次世界大戦が終ると、ワールドカッ
プは世界的な一大イベントとして脚光を浴
びる

FIFAの加盟国は、204カ国を数えている。

日本サッカー界 Jリーグの設立

【理念】

一、日本サッカーの水準向上及びサッカーの普及促進
一、豊かなスポーツ文化の振興及び国民の心身の健全な発達への寄与

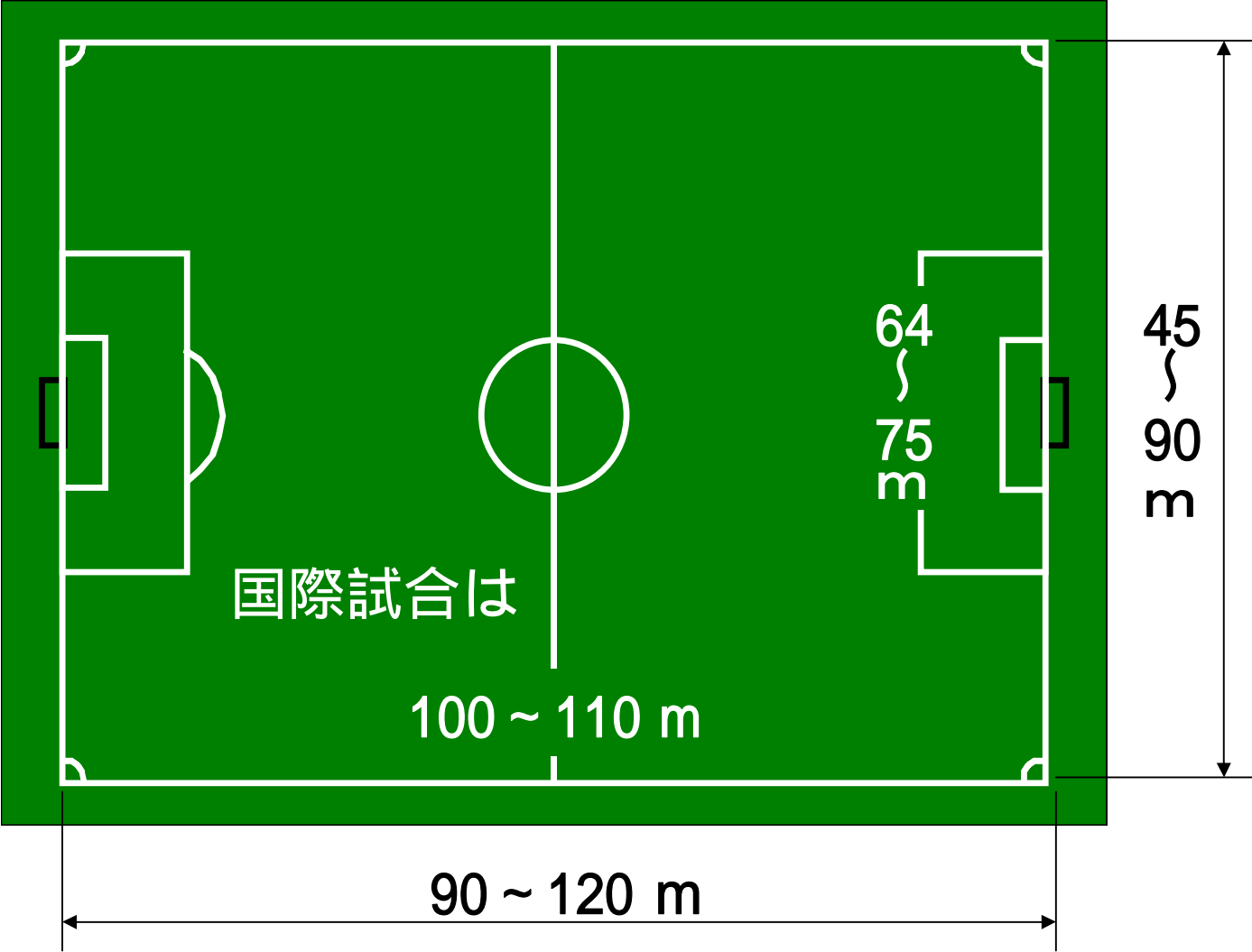
一、国際社会における交流及び親善への貢献

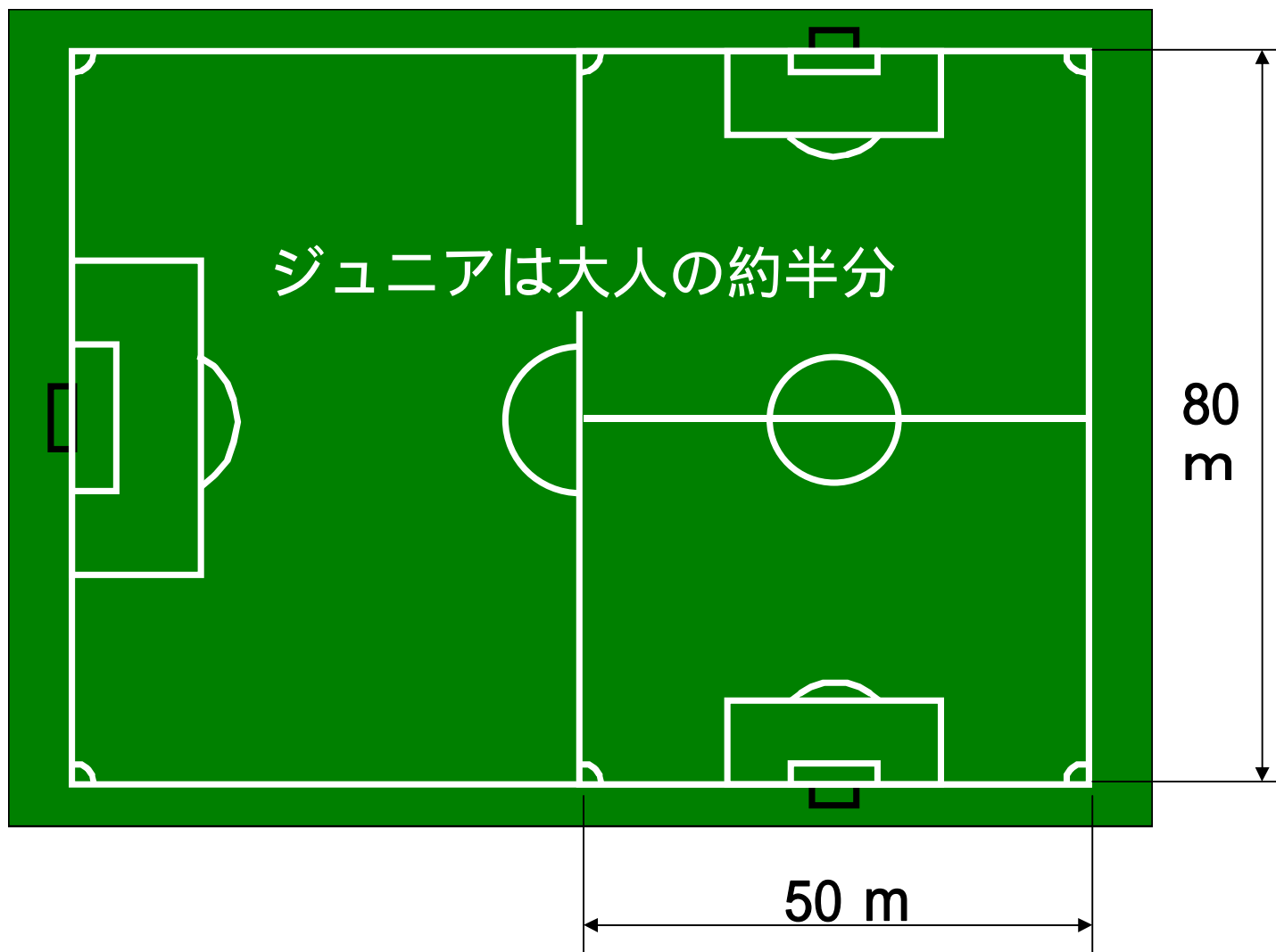
<ホームタウン制>

クラブはこの理念に則り、活動の本拠地を「ホームタウン」と定めて、サッカーの普及・振興活動を行っています。「ホームタウン」とは、球団の商業権域を保護するプロ野球の「フランチャイズ」の考え方とは一線を画すもので、Jリーグの各クラブは、市民・行政・企業が三位一体となった支援体制をもち、コミュニティの核として発展していく存在になることを目標としています。

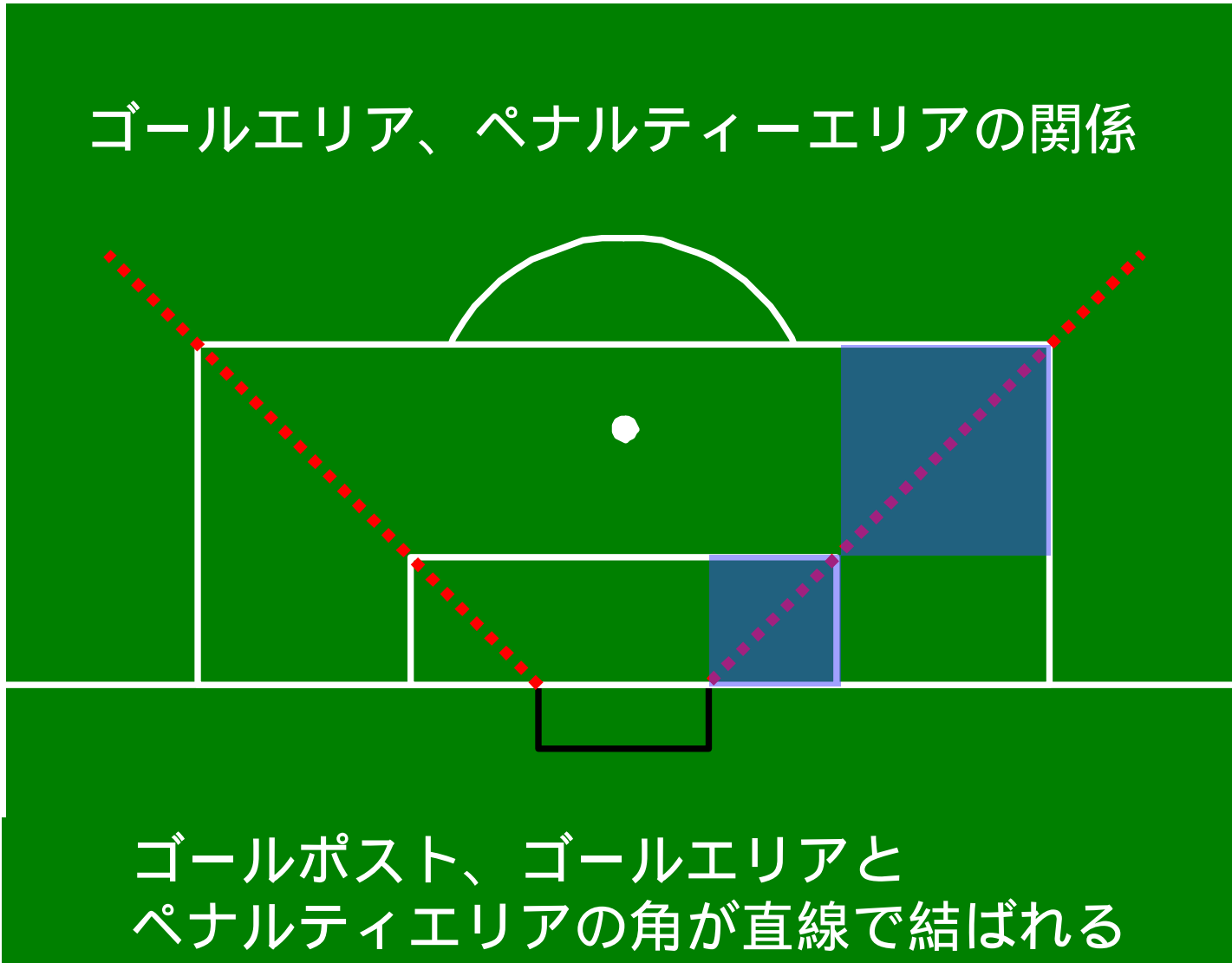
サッカーのルール

1.フィールドについて

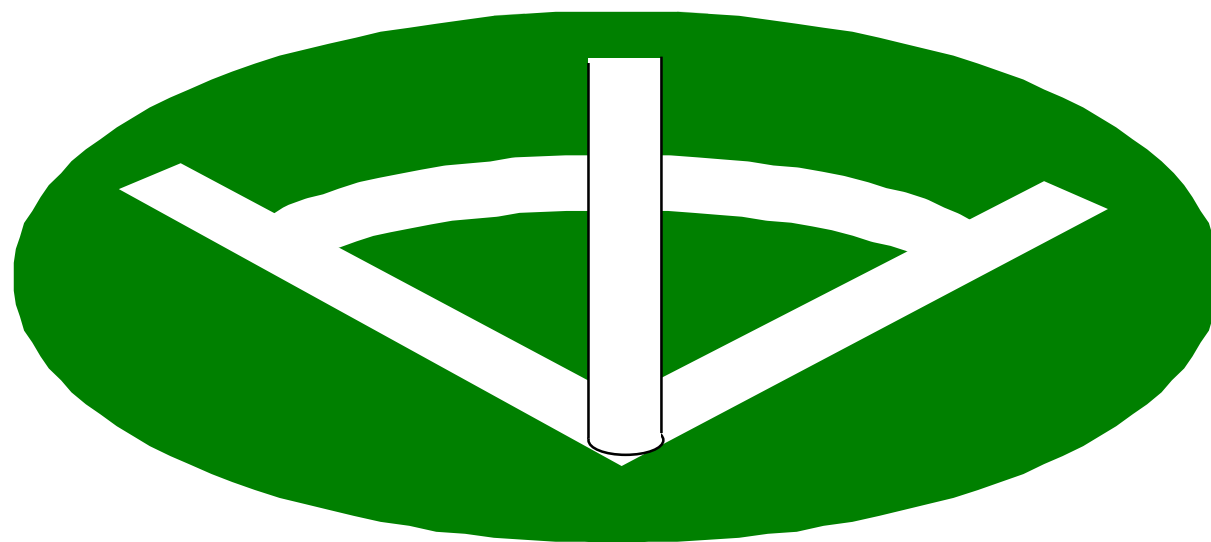




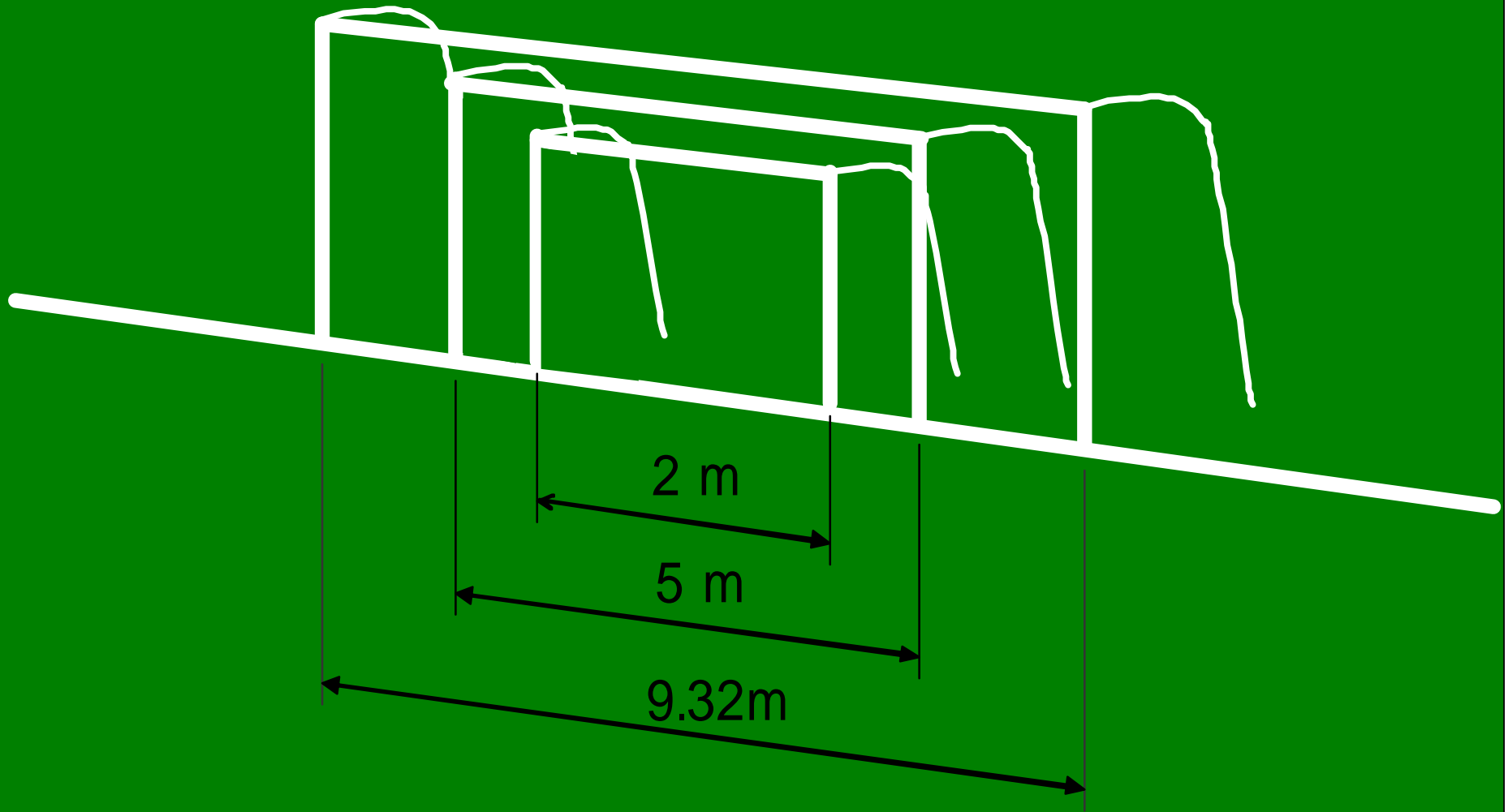
ゴールエリア、ペナルティーエリアの関係



ゴールポスト、ゴールエリアと
ペナルティーエリアの角が直線で結ばれる

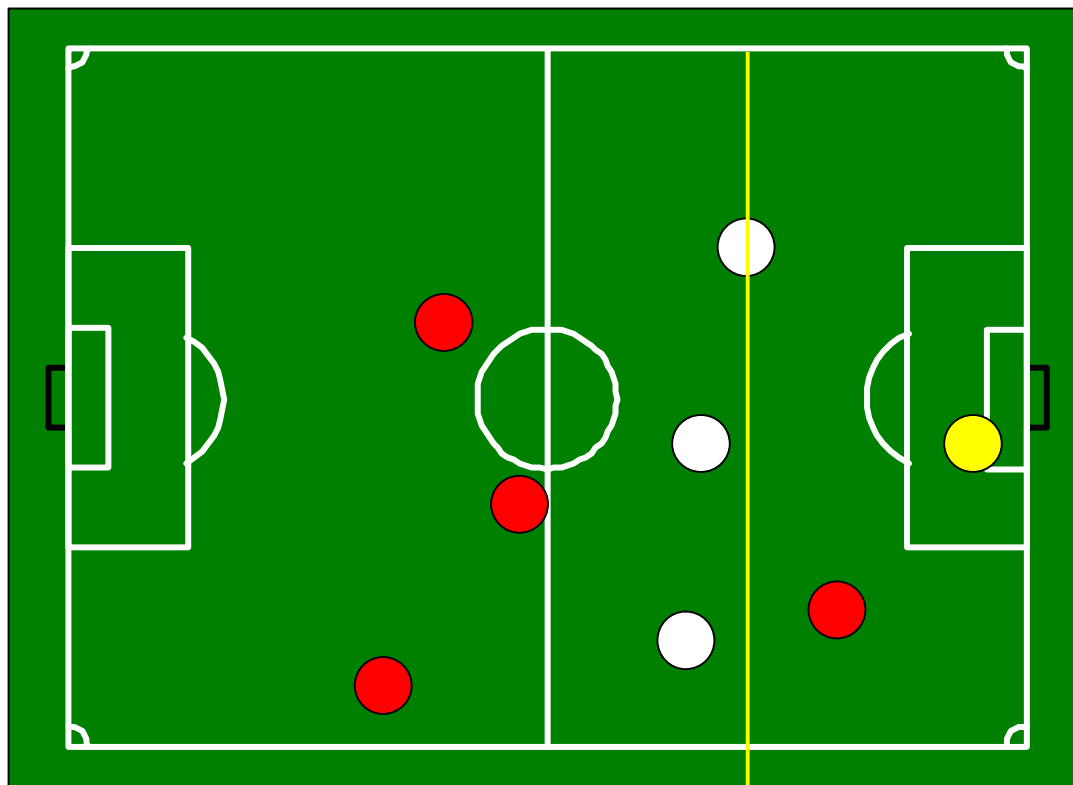


コーナースタックのポールの外径が
タッチラインとゴールラインに接するように



オフサイド

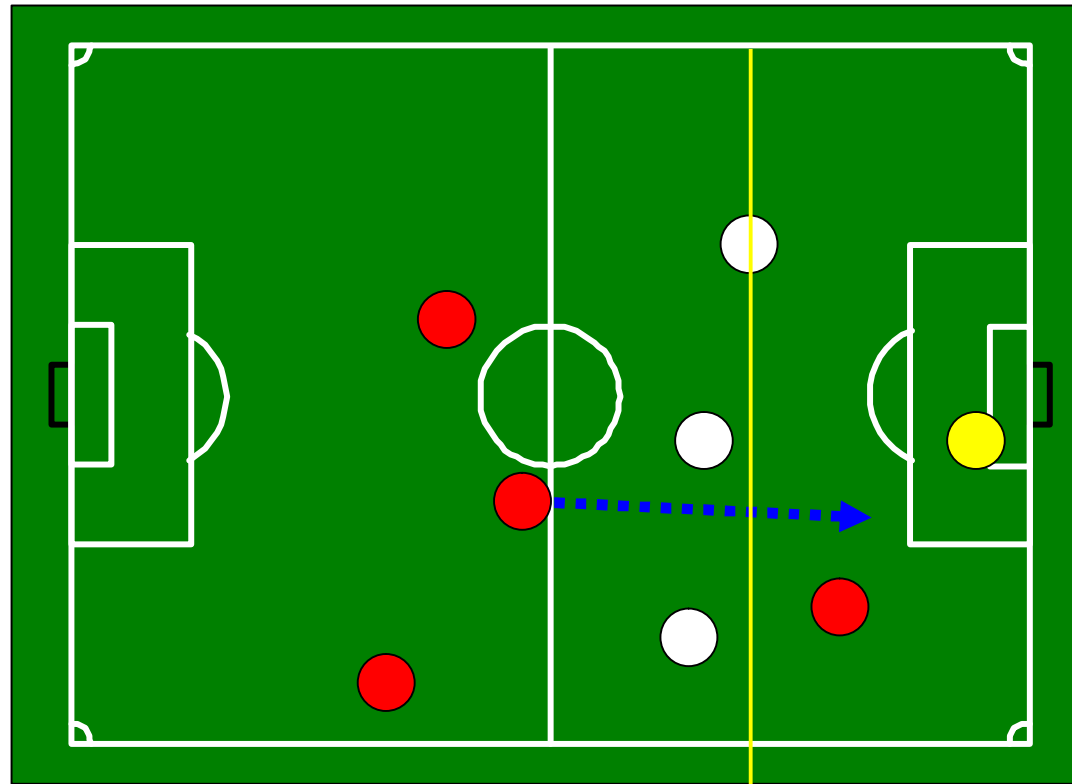
オフサイドとは



オフサイドライン

守備側のゴールラインから2人目の選手より
ゴールライン側がオフサイドポジション

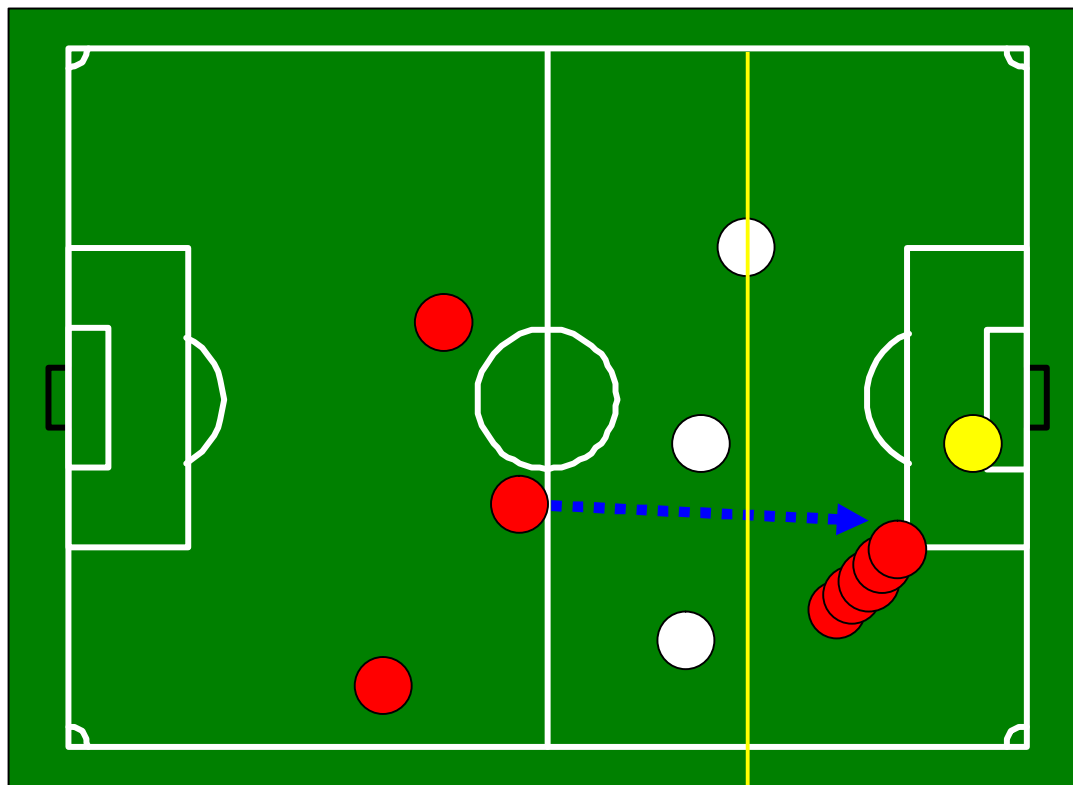
オフサイドとは



オフサイドライン

見方選手からボールが蹴られた瞬間に
オフサイドポジションにいる

オフサイドとは

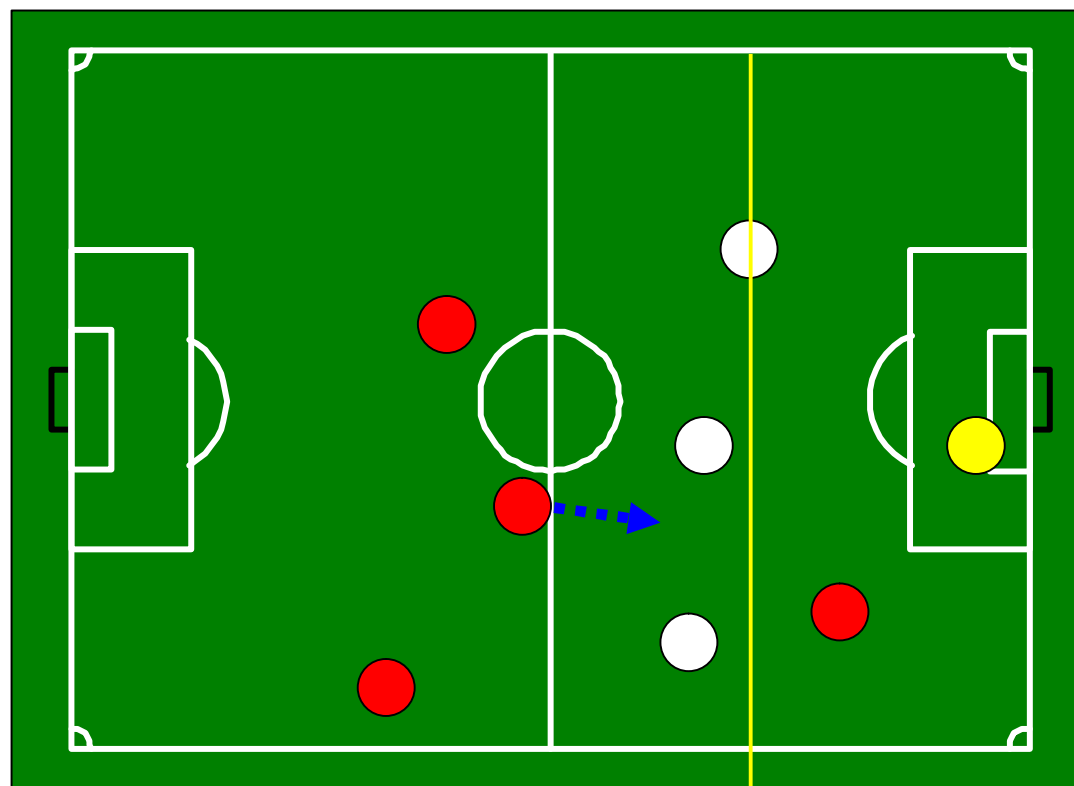


オフサイドライン

オフサイド成立

積極的にプレーする

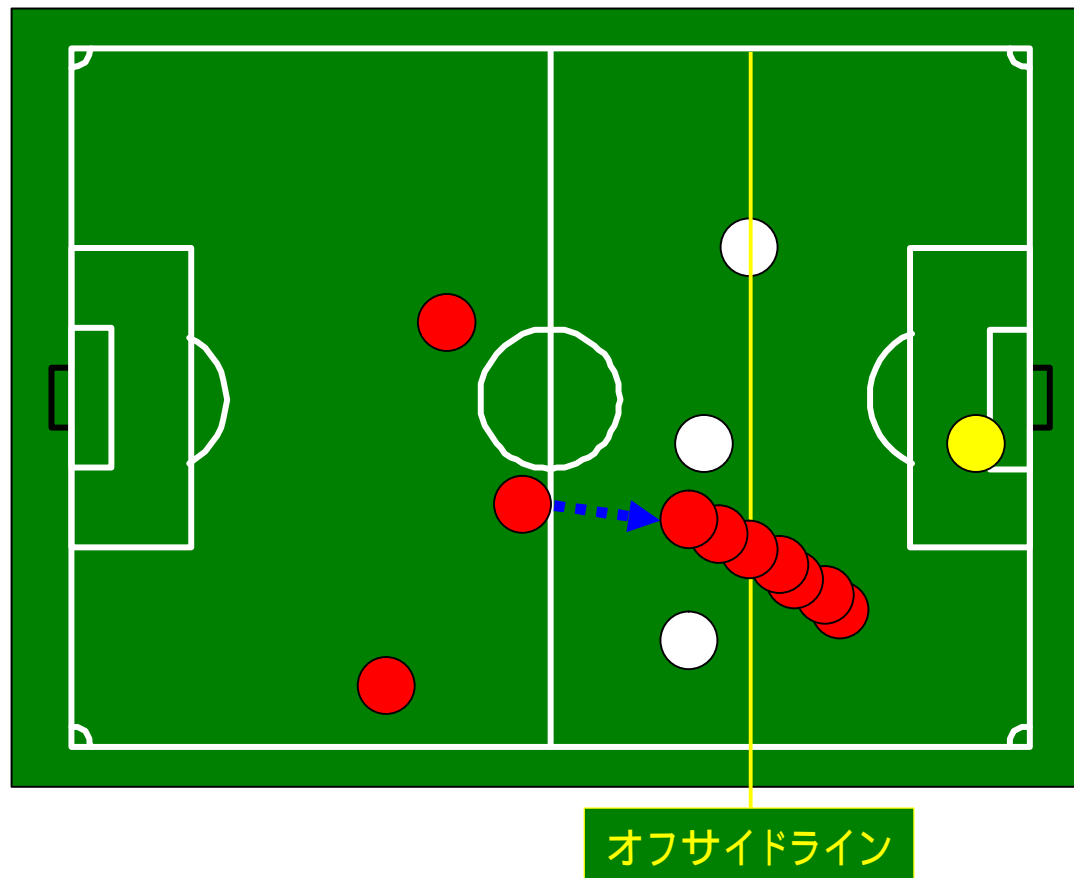
オフサイドとは



オフサイドライン

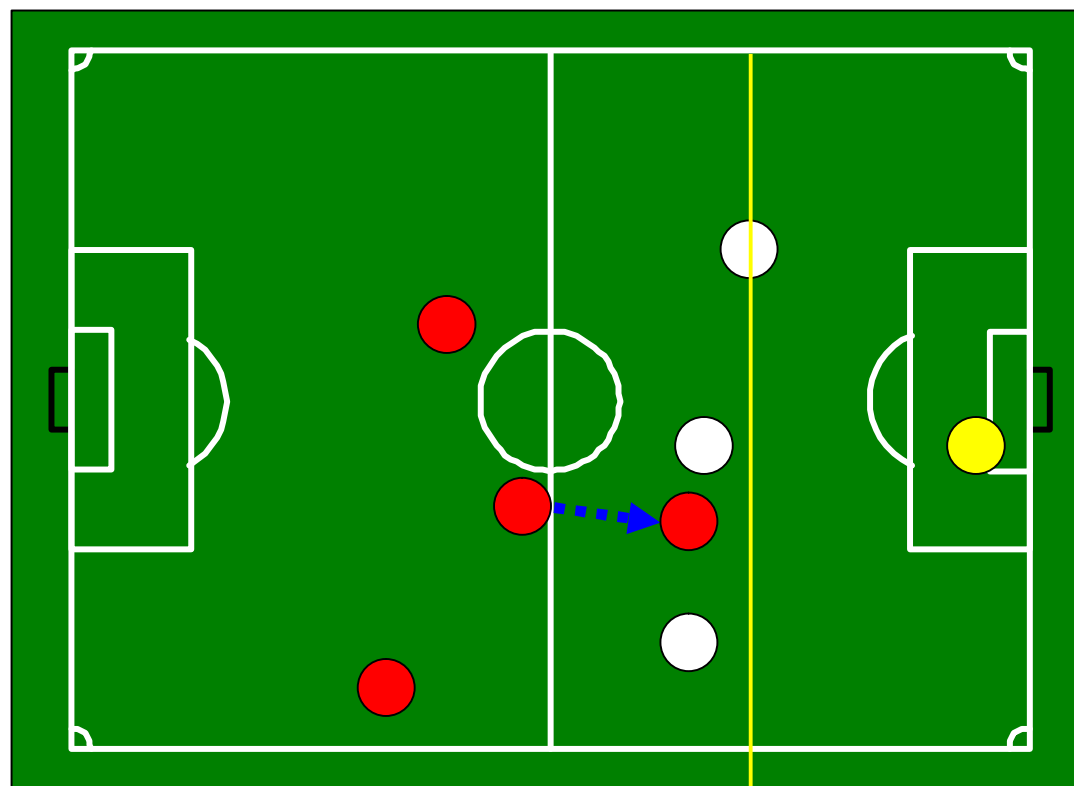
見方選手からボールが蹴られた瞬間に
オフサイドポジションにいる

オフサイドとは



積極的にプレーする

オフサイドとは



オフサイドライン

オフサイド成立

戻りオフサイド

イエローカード

レッドカード

直接フリーキックとなるファウル

不用意に無謀にあるいは過剰に	無条件に
蹴る、蹴ろうとする(キッキング)	ボールを奪うためにタックルし、 ボールへ触れる前に相手に接触 する(スライディング)
つまずかせる、つまずかせようとする(トリッピング)	
飛び掛る(ジャンピングアット)	抑える(ホールディング)
チャージする(チャージング)	相手につばを吐きかける
打つ、打とうとする(ストライキング)	ボールを意図的に手で扱う (ハンドリング)
押す(プッシング)	

イエローカード（警告）

- 反スポーツ的行為を犯す
- 言葉または行動によって意義を示す
- 繰り返し競技規則に違反する
- プレーの再開を遅らせる
- コーナーキック、またはフリーキックでプレーを再開するとき、規定の距離を守らない
- 主審の承認を得ずフィールドに入る、または復帰する
- 主審の承認を得ず意図的にフィールドから離れる

レッドカード（退場）

- 著しく不正なプレーを犯す
- 乱暴な行為を犯す
- 相手競技者あるいはその他の者につばを吐きかける
- 競技者が意図的に手でボールを扱って、相手チームの得点、あるいは決定的な得点の機会を阻止する
- フリーキックあるいはペナルティーキックとなる違反で、ゴールに向かっている相手競技者の決定的な得点の機会を阻止する
- 攻撃的な、侮辱的な、あるいは下品な発言や身振りをする
- 同じ試合の中で二つ目の警告を受ける

こんなルールもある

ホーム & アウェー方式での 勝敗の決め方

チーム		勝点	得点	失点	得失差	順位
A	H 3-1	3	3	3	0	?
	A 0-2					
B	H 2-0	3	3	3	0	?
	A 1-3					

アウェーゴール方式

アウェーでの得点を
2倍にする

チーム		勝点	得点	失点	得失差	順位
A	H 3-1	3	3	3	0	2
	A 0-2					
B	H 2-0	3	4	3	1	1
	A 1-3					

こんなルールもある

ハーフウェーラインにフラッグを
立てなければならないか

答え

立てる必要はない
ハーフウェーラインのフラッグ
は任意である

ゴールネットは張らなければなら
ないか

答え

可能な限り張ることを奨める
大会規定によっては必要

ロスタイムをとるかどうかは主審
が決めてよいか

答え

必ずとらなければならない
ただし 時間は主審が決めて良い

キッカーがボールを蹴ったときに
靴が脱げて、相手選手に当たっ
て怪我をした、主審の取るべき
処置は？

答え

- ・ 故意でないと判断したら
プレーを中断してドロップボールで再開
- ・ 故意ならば
著しく不正なプレーで退場

続いて

サッカークイズ

サッカークイズ
(×クイズ)

問1. サッカーの発祥地は、イギリスのスコットランドである。

答え：×（イングランド）

問2 . Jリーグは、1993年に
開幕した。

答え：

問3 . 守備側のペナルティエリア内で守備側の選手がショルダーチャージをしたので、PK (ペナルティキック) と判定した。

答え：× (反則でない)

問4. サッカーで必要なコミュニケーションは、声、ボディーランゲージ(身振り、手振り)、ボディコンタクトである。

答え：× (ボディコンタクトでなくアイコンタクト)

問5 . 日本は、過去にオリンピックのサッカー競技でメダルを取った。

答え： (1968年メキシコ大会銅メダル)

問6 . サッカーの競技ルールの改定は、FIFA (国際サッカー連盟) で行う。

答え： × (国際サッカー評議会)

推薦書

